

グリーンプロジェクト

～湯の山子供の森プロジェクト～

1, 企画概要

湯の山こどもの森プロジェクトの事務局長を務める佐々木章先生の管理する、佐伯区湯来町大字和田付近の森林（1 ha 程度）の森林を整備してこどもが自然体験できる森林を再生していく。当初の予定では最終的な目標としてこども教室の開催、公民館での成果物を用いた写真展を予定していた。しかし、前期にコロナウイルスの感染者数の増加によって広島県が蔓延防止策を施行したことから前期での活動が不可能になった。そのため予定していた計画を実行することはできない。子供教室、公民館での写真展の開催も困難と予想し当初の予定を前期終了時に大幅に変更した。以下の表-1 が当初の企画の予定、表-2 が変更後の企画予定を示している。変更後の予定はコロナ禍での不安定な状況の変化、来年度のイベント開催に焦点を当てたものになる。そのため今年度では、現地調査の項目、定例会の頻度を変更し新たに模型の作成を追加した。

2, 活動内容 (1)

7月に湯の山の管理者様と連携して植生調査・ササユリの保全活動を実施しました。ササユリは現在地域によって希少種・準絶滅危惧種に指定されている植物である。この植物の周りに柵を作ることでイノシシなどの動物に掘り起こされないように対策をした。

図-1 がササユリの周りに置くための木の柵を製作している様子である。



図-1 ササユリの木の柵製作の様子

2, 活動内容 (2)

来年に展示するための湯の山と湯の山周辺の外観を一望できるような模型を作成している。衛星航空写真と国土地理院の地形図を基にして作成していく。図-2 は対象場所の現段階の模型の作成物である。完成した模型図を基に学科での学びや自然の知識を他者に提供できるようにする。現時点では等高線に合わせて発熱発泡スチロールカッターを用いて切断している。

使用材料

- ・湯の山及び周辺の国土地理院の地形図
と航空写真
- ・ボンド
- ・カッターマット、カッター
- ・木のジオラマ、ジオラマ
- ・発泡スチロールマット



図-2 作成途中の模型の様子

3, 今後の活動予定

- ・定例会 (2回目)
- ・現地調査 (2回目)
- ・最終報告会
- ・来年度 公民館での写真展、子供教室、工大祭での模型の展示